

2015年（平成27年）にふじのめ学級（附属小学校・中学校）の実習生へ  
＜実習期間＞

平成27年8月26日（水）～9月15日（火）

#### 先輩の実習経験談（2014年の実習生）

##### 【小学校特別支援学級（ふじのめ学級）配属】

・授業前のシュミレーションが甘かったために、時間配分を調整することができなかった。子どもたちは自分自身が考えている以上のことを質問してきたり、反応してくることが多い。シュミレーションを行う時は、教師側の目線というより、子どもたちの目線にたって考えることで、実際の授業では対応しやすくなる。

・子どもと遊ぶ体力をとにかくつけたら良いと思います。小学部は男児が多いため、アクティブに遊ぶことが好きな児童が多く、走るスピードも速いです。

・楽しい授業づくりをすることはとても大切だが、単にゲーム形式やイラストを使った授業が良いというわけではないことを学んだ。ゲーム形式にしたところ、そのゲームのルールにとらわれて、授業のねらいに沿った気付きを生みにくくなった児童がいた。その教科自体の楽しさを感じられる児童ならばゲーム活動は必要なかった。

・子どもたちとの関わりは日々変化していくものです。一人一人の子どもが毎日、少しずつ成長していきます。「この子はこういう子」といった固定観念を持たず、日々観察し、思いついた事は実践して、多くのことを学んで行って下さい。失敗すると大変なこともたくさんありますが、子どもたちは本当にかわいいです。

##### 【中学校特別支援学級（ふじのめ学級）配属】

・限られた時間で子どものことを志郎とすると、授業中以外の休み時間や給食時間、や帰りの時間など、学校に子どもたちがいる間は、自分から積極的にかかわっていこうとしないと、把握できない。遠くから子どもたちを見ているだけでは表面上のことしか分からない。子どもたちを知るためには、自分を知ってもらうことも同時にしていく必要がある。生徒も実習生のことを知りたがるので積極的に自分を出してかかわっていくことを意識できれば良いと思う。

・厳しく注意する時と誉める時のメリハリが大事だということが分かりました。最初、厳しく注意しようと意識して過ごしていたら、ある生徒に「実習生だけけど先生みたい」と言われ、別の生徒には「実習生なのに怖い」と言われてしまいました。生徒の良い所や頑張っている所を見つけてたくさん誉めるようにしたら、「怖い」と言っていた生徒も心を開いてくれました。

・子どもは常にこの教育実習生はどういう人なんだろうと探っているので、一緒に遊ぶときにもっと自分の個性を出した方が良いと思った。

- ・レインボーピックに向けて一生懸命練習する生徒の姿が印象的であった。練習では、生徒と一緒に走って競争し、より近くで生徒の努力する姿を見る事が出来た。自分が全力で走ることで、生徒もさらにやる気を出し、距離を縮めることができる。

## 全体を通して（実習生の反省より）

- ・返事をきちんとすることや、教生控室の整頓は、基本中の基本かもしれませんが、徹底するようにしましょう。

- ・実習生といえども教師と生徒の関係なので、言葉遣いや呼び方には気をつけよう。呼び方以外で子どもと近い距離でいられる関わり方を見つける事が大切です。

- ・実習で教える教科が決まってから、その教科の学習指導要領を購入しようとしても、学習指導要領を取り扱う本屋は少なく、まだ殆どの本屋は早い時間に閉店してしまうので、実習期間中に購入する事は難しい。そのため、同じ学級配属の人と共有する形でも良いので、事前に、小学校の国語、算数、中学校の外国語活動など、オリエンテーションで言われる教科の学習指導要領を購入すべきである。

- ・実習中に実習生同士で名前を呼ぶとき、ちゃんと「〇〇先生」と呼びましょう。つい、いつも通り呼び捨てにしたり、あだ名で読んでしまうことがあるので、注意して下さい。

- ・体調管理には絶対に気を付けてほしい。授業期間に入ると睡眠時間がかなり短くなるので、実習間の早起きの習慣づけや体力作りは必要だと思う。また、自分では元気に接しているつもりでも、疲れてくると笑顔が消えていたり、声が小さくなっていたりするので、実習中は「やりすぎかな？」と思うくらい明るい先生でいることが大切だと思う。

- ・授業のシュミレーション不足だったため、子どもの発言をひろったり、発言をつないだりまとめに持っていくことが出来なかった。板書計画もおおまかなものではなく、きちんと細かい所まで決めた方が良かったと思う。

- ・家で出来ることと学校でやる事を区別して、3週間を過ごすことも大切である。学校で先生方からアドバイスをもらうことや、仲間と話し合う事、家で準備すること、提出物の記入など、分ける事で少ない時間を上手に使うことができると思う（片道2時間半通勤）。

- ・大変だけど、本当に勉強になるし、何より子どもたちがかわいい！！頑張ってください。

- ・実習中は感謝の気持ちを忘れずに取り組むこと。自分一人では、絶対に実習はできません。指導して下さる先生方、他の実習生、子どもたち、他にも身のまわりの人たちに感謝して自習にのぞんでください。また自分で考えても分からないことは、先生方や実習生に相談しよう。

- ・終わったら先生方にお礼状を忘れずに出そう。